

# 学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



学校西側に咲くあじさい

## 「太陽の時間」で体力づくり

毎週水曜日と金曜日の業間10分間は、「太陽の時間」の体力づくりを行っています。内容は、「全体運動（集団行動）」や縦割り班による「ふれあい班運動」です。

「ふれあい班運動」では年間を通して様々な運動に親しみ挑戦できるよう、ローテーションが組まれています。「うんてい」「鉄棒・登り棒」「リレー」「一輪車」「竹馬」「ボール投げ」の運動を、1年生から6年生までの6～7人の班ごとに行います。5、6年生が中心となって、準備運動やそれぞれの運動、整理運動を進める姿は、頼もしくたくましく見えます。上級生が下級生にやり方を教えたり、励ましたり……身体だけでなく心も育っていると思います。班のみんなで同じ運動に取り組み、がんばることで、運動の楽しさはもちろん仲間意識も味わいながら、高まっていくことでしょう。

冬は、持久走練習やなわとび運動も予定しています。



## 遠足・修学旅行の感想より

- ・ぬかるんでるところを歩くのは不安だったけど、筑波山に登れてうれしかったです。（1年生 T・Nさん）
- ・道に咲いていた花に応援されている気がして、頂上のゴールを目指すことができました。（2年生 T・Sさん）
- ・今日は楽しみにしていた遠足です。バスの中では、クイズや箱に入っているものを当てるゲームをやって、楽しかったです。「つかもと」では、見学したりお皿に絵を描いたりしました。家族におみやげを買ったことも心に残りました。（3年生 T・Oさん）
- ・益子焼の絵付けは筆で描くので少しむずかしかったです。絵の具は赤とグレーの2色。赤の絵の具は見た目は赤だけど、かわくと黒になると教えてもらいました。益子焼ができあがるには約3週間かかるというので、完成が今からとても楽しみです。（4年生 S・Kさん）
- ・私が楽しかったことは、班別行動と食事、「オービィー横浜」です。  
班別行動は、班に分かれて自由に買い物ことができました。予定より時間が遅れてしまい大変でしたが、大人の人に聞いたり写真を撮ってもらったりして楽しかったです。  
食事は「赤レンガ倉庫」や船で食べたことが心に残りました。どちらもバイキングなので、無理して食べることなく、おいしく感じました。  
「オービィー横浜」では、映画を観たりおみやげを買ったりしました。「モンキーキング」という映画ではミストが出てきたり、大画面が動いたりして驚きました。おみやげもかわいいものがたくさんあって、迷いました。（6年生 S・Sさん）

## プール清掃で爽やかプールに

5/31（火）プール清掃を4～6年生が行いました。プールの中には落葉や泥がたくさんあり、プールの壁や底は藻などでかなり汚れていました。デッキブラシやたわしでこすり、2時間かけて見ちがえるほどきれいなプールになりました。また、更衣室やトイレもきれいになりました。4～6年生の働く姿はとても立派でした。吉東小の上級生として、学校のために進んで働く子供たちに育っています。6/6（月）はプール開きです。





# 創立記念日 (6/1) & 県民の日 (6/15) 集会



13日(月)の全校集会では〇×クイズを行いました。クイズの内容は以下のとおりです。

第一問：栃木県の木は「トチノキ」、鳥は「オオルリ」です。花は「ゆうがお」である。  
正解は ×。正しくは「やしおつつじ」。「ゆうがお」は、下野市の花です。

第二問：栃木県の県庁は、宇都宮市にある。  
正解は ○。明治16年までは栃木市にありました。

第三問：今の栃木県の人口は、約100万人である。  
正解は ×。正しくは200万人。下野市の人口は、約6万人です。

第四問：栃木県の「いちご」と「かんぴょう」は、収穫量が日本で一番である。  
正解は ○。他に、麦や牛乳などもたくさん作っています。

第五問：吉田東小は学校ができてから、今年で144年目になる。  
正解は、○。今年で吉田東小は144歳になります。

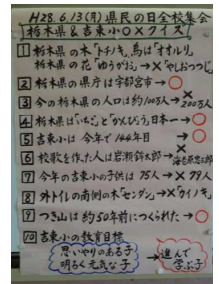
第六問：校歌を作った人は、岩瀬銚太郎さんである。  
正解は、×。校歌は、第14代校長の海老原忠三郎さんが作詞しました。  
岩瀬銚太郎さんは、南河内村長になり、養心館をつくった人です。

第七問：吉田東小の今年の児童数は75人である。  
正解は、×。正しくは、79人です。  
1番多いときは昭和20年の605人でした。

第八問：外トイレの南側にある木は「センダン」である。  
正解は、×。正しくは、「カイノキ」です。これは学問の木で、海老原茂様より寄贈していただきました。校歌にある「センダン」同様、吉田東小のシンボルの木です。

第九問：校庭の築山は、今から約50年前に造られた。  
正解は、○。昭和44年に造られました。

第十問：吉田東小の教育目標(こんな子どもになってほしいという願い)は3つあります。①思いやりのある子 ②明るく元気な子 です。あと一つは何？  
正解は「進んで学ぶ子」です。3つの目標に向かって努力しましょう。



低学年には難しかったようですが、楽しみながら栃木県や吉田東小について学ぶことができました。私たちの郷土や学校を知ることを通して、地域の方たちとつながり、ふるさとの誇りをもち愛する心を育てたいと思います。

5/30(月)業間の集会では、飼育栽培委員会の発表が行われました。校庭の木や花などの〇×クイズを通して、植物への関心を高め親しむことができました。

このような委員会の発表は、児童の表現力を育成する場となっています。今後、図書委員会・企画委員会・保健給食委員会の発表を予定しています。



急放送を合図に、各学年の避難場所に逃げました。階段下の倉庫やトイレの、なるべく窓のない部屋に防災頭巾をかぶって入りました。教職員もヘルメットをかぶり、児童の避難誘導と安全確保、避難人数の報告をしました。災害はいつ起きるか分かりません。日頃から危機管理意識を高めて、大切なお子様の命をお預かりしていきます。

6/1(水)竜巻を想定した避難訓練を行いました。竜巻接近の緊

6/2(木)ふれあい班対抗のスポーツ大会を行いました。昨年からの、投げる力をつけるために、ドッジボールに変えて、低学年と高学年に分かれて行っています。1年生も2、3年生のボールに当たられないように、泣かずに真剣に逃げます。さすが高学年は迫力あるボールの投げ合いでした。1位は2班と3班でした。



# 学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



卵を温める  
ツバメ  
(保健室  
南の巣)

「校長先生、こんにちは」といつも明るく笑顔で挨拶できる2年生Tさん、「ごみの袋を片付けます。」と私が持っていた袋をごみステーションまで替わりに持って行った5年生Eさん、学級の本箱を進んで片付けられた1年生Iさん……吉田東小の子供たちは本当に素直で、きらきら輝く笑顔がいっぱいです。進んで挨拶、進んで清掃、進んで片付け、進んで発表など、始業式で話した「進んで」を見つけると、とてもうれしくなります。一人一人が少しずつ成長しているのですね。その成長を後押しできるように、進んで挨拶や励まし、賞賛の声掛けをしていきます。

## 「教育は人なり」を合い言葉に切磋琢磨できる[チーム吉東]に

～学校経営方針の具体的な取り組みから～

4月号学校だよりでは学校経営全体計画についてお知らせしました。今年度、特に力を入れている「学力向上」に向けた本校の取り組みを紹介いたします。

研究主題 学力向上を目指す算数学習の在り方を求めて（2年次）  
～基礎・基本の定着を図る、生き生き授業作り～

### (1) 生き生き授業づくり

①算数学習の基本的な流れの見直し、系統的な指導…「算数の手引き」の作成・活用。

②児童の育てたい資質・能力・態度を明確にした単元計画の作成及び実践

ア めあての持たせ方の工夫（課題の捉えさせ方の工夫）

イ 算数的活動の工夫…ねらいに合う活動

・言語活動を充実させて、深まりや広がりにつなげる活動

・デジタル教科書やWeb教材等のICTを活用した授業展開

ウ **まとめと振り返りの時間の充実**

（1時間の流れが分かる板書・めあてに即したまとめ・達成感を味わえる振り返り）

### (2) 日常の取組

①家庭学習の充実

②百マス計算大会等の学年の枠を外した学びの場…計画的に月に1回自学の時間に（10月～）

③ノート指導の工夫…児童の思考の流れが分かるノート作り

④表現活動の工夫

・基本話型を生かし、相手に分かりやすく説明できるような指導支援

・言語活動を通して、考えを深めたり新しい考えに共感したりする学び合い活動の支援

「教師は授業で勝負」と言われます。教師一人一人が児童の学力向上のために、毎日学習指導法の充実と改善に努めています。さらに、他の職員も先生方を支えるために、それぞれの担当で子供たちのため・学校のために協力しています。まさに[チーム吉東]を目指して。

6/16（木）に2年生の研究授業が行われました。全教員が授業を参観し、授業についてグループで協議しました。最後に、「下都賀教育事務所」阿部信太郎先生や「下野市教育委員会」稲見雄太先生の御指導をいただき、充実した授業研究会になりました。



学力向上のカギは3つ。①子供の学ぶ意欲向上と学習習慣の確立 ②教師の指導力向上 ③保護者の理解と協力です。御家庭でも、家庭学習の充実のためにお子様への声掛けや確認をお願いします。



# 爽やかな汗 P T Aスポーツ大会



(6/4)

6月4日(土)8時から毎年恒例のPTAスポーツ大会を行いました。本校では15年間ほど、地区ごとのチームで「インディアカ大会」の熱い戦いをしていましたが、昨年から、下野市のスポーツである「キンボール」に変更しました。児童の減少にともない、チーム編成や夜間練習がむずかしくなったからです。

2年目の今年は、地区ごとのチームに加え、4年生、5年生、6年生、教職員チームの12チームが編成され、ゲーム形式で進めました。講師の「スポーツ振興課」の方たち6名にルールを学びながら、和やかに交流試合ができました。1チーム4人、3チームで同時に、1メートル以上ある大きなボールをヒットしたり、レシーブしたりして追いかけます。ボールを落とさないように4人が協力することが大切です。ボールをヒットする前に「オムニキン、〇〇」(〇〇は相手チームの色)と大きな声で言います。その「オムニキン」とは、「すべての人が楽しめるスポーツ」という意味の造語だそうです。確かに一人一人が活躍し、みんなで協力し合うゲームです。思わず、相手チームのファインプレーに拍手。爽やかな汗を流したスポーツ大会でした。お父様、お母様方のたくさんの御参加に感謝いたします。



来年2月には、下野市の小学校対抗の「キンボール大会」が開かれる予定です。本校では「キンボールクラブ」が今年から始まり、2月の大会に向けて練習しています。子供たちの活躍が楽しみです。



## 救命救急講習会 (6/4)



4日(土)PTAスポーツ大会の後に、第1ホールで救命救急講習会を開きました。毎年行っていますが、忘れてしまうものです。今年は保護者18名、児童11名、教職員9名、合計38名の参加でした。

石橋消防署の方に「心臓マッサージ」や「人工呼吸」の方法、AEDの使い方について実践を交えて教えていただきました。人間は、心臓が止まってから3~4分で脳が死んでしまうそうです。救急車到着までには8分。その時間の差を埋めるために、「心臓マッサージ」やAEDが必要です。「迷ったら心臓マッサージ」「やる勇氣」という熱い言葉が心に残りました。



6日(月)音楽集会では4年生の発表が行われました。「プパポ」という曲の二部合唱と「ハローサミング」のリコーダー奏の発表でした。たった9人ですが、心を合わせた美しく響き合う演奏に大きな拍手を送りました。聴かせていただいたお礼に、4名の児童が自主的に感想を述べる事ができました。お互いに認め合い、学び合う雰囲気为学校全体に広がりつつあり、うれしくなりました。



6年生が国語で「学級討論会」を開きました。進行役・肯定・否定の主張グループの3つに分かれ、「休み時間は5分で良い」について話し合いました。肯定・否定、両方の立場から理由を述べたり質問したりして、最後には「休み時間は5分で良い」という肯定の主張にまとまりました。このように自分の意見をはっきりさせ、相手の意見を受け入れて考えを深める学習はとても大切だと思います。

15日(水)全校生で「美化活動」を行いました。1~3年生は畑や花壇の除草、4~6年生は沿道の花壇に花の苗を植えました。途中から霧雨が降ってきましたが、手を泥だらけにしながら最後までそれぞれの分担の仕事に熱心



に取り組む姿は立派でした。本校では、このような美化活動を年間4回計画的に行い、学校をきれいにしています。

